

# 市長の所信に対する質疑

新市長の市政運営にあたっての所信表明が9月25日の本会議で行われ、26日には4人の議員が、市長の所信に対し、会派を代表して質疑を行いました。市長所信表明の内容については右の二次元コードよりご確認ください。



## 学校給食無償化の財源確保は 補聴器購入助成制度の進捗は



山本 みちよ (公明党)

**問** 学校給食無償化のために必要な予算は、年間4億3,000万円と試算されます。限られた税収の中、他の施策に影響が及ばない財政運営が求められますが、継続した財源確保についてどのように考えていますか。

**答** 決算剰余金の圧縮分を充てるほか、前市政以上に厳しい行財政改革を進め、安定的な財源確保に取り組んでいきます。また、本来、国が取り組むべき事業であり、実施について国に対し引き続き求めていきたい。

**問** 高齢者の補聴器購入費の助成制度について、前回の定例会で、他区市の実施状況を踏まえ、可能な限り早期の実現に向け検討することが示されました。現在までの進捗状況、また今後の取組について伺います。

**答** 他団体の実態調査や情報収集を行い、その中で、認定補聴器専門店での購入と、継続的なフォローの重要性を把握しました。今後、医師会や認定補聴器専門店と連携して制度設計し、早期導入に向け準備したい。

その他の主な質疑項目 ●予算編成の考え方 ●学童保育待機児童の解消 ●不登校児童・生徒への支援 ●子どもの権利 ●産後ケア事業の拡充 ●認知症対策 ●障がい者移動支援 ●PFAS問題 ●公契約条例

## 酒井市政の重視する政策は 小学校給食無償化の見通しは



中町 聡 (日本共産党)

**問** 日本共産党は、市民に寄り添った政策については実現のため力を尽くし、市民の暮らしにマイナスになるものにはノーと言ひ、是々非々で酒井市政を支えていくことを表明します。市長が重視する政策の考えは。

**答** 私は5つのコンセプトを柱に政策を進めたいと考えていますが、今後、迫りくる人口減少、少子高齢化の状況を鑑みると、親や子の希望や安心を支え、立川で産み育てやすい環境の構築を特に重視しています。

**問** 市長公約である小学校の給食費無償化は、日本共産党としても強く実現を求める政策の1つです。改めてその意義やスケジュールについてお聞かせください。地元食材の使用率等についても見解を伺います。

**答** 経済的な負担を減らすことで子育てしやすい立川を目指すもので、来年度予算編成の過程で課題の整理や制度の構築に着手します。地元食材は、新鮮で、食教育にもつながるため、今後も使用に努めていきます。

その他の主な質疑項目 ●市長選挙の結果 ●市民の意見を聞く方法や体制 ●情報発信 ●学童保育所の待機児童 ●介護人材の確保 ●職員の活性化 ●管理職の女性登用 ●公契約条例 ●予算編成

## 今後の市のブランド戦略は 増加するおひとり様相談窓口は



わたなべ 忠司 (立憲ネット緑たちかわ)

**問** これまでのブランドメッセージは、市の成長と発展を考える視点からは違和感があるものですが、今後は市のブランド戦略をどのようにしていくのでしょうか。市長の考えをお聞かせください。

**答** ブランドメッセージは、現状のライフスタイルではなく、今後の市のあるべき姿を表すものだと考えます。次期長期総合計画の検討と歩調を合わせ、市民の皆様の意見も伺いながら、検討を進めていきます。

**問** 本市は単独世帯が約半数を占めており、今後もおひとり様増加が予想されます。市長の公約の一つに「専門職による終活・おひとり様【あんしん相談】事業導入」がありますが、当事業に対する所感を伺います。

**答** おひとり様に関する事業は高齢者に限らず、市民に寄り添う市政を行う上で重要な施策です。相談窓口の開設に向け、先進市の事例も参考にしながら検討し、専門職の力を借りて事業の拡充を図っていきます。

その他の主な質疑項目 ●職員体制について ●学校給食について ●子どもの権利について ●不登校児童生徒への支援強化について ●公契約条例の制定について ●PFAS問題について ●市民との協働について

## 前市長の実績の評価は 前市長からの継続性の考慮を



江口 元気 (たちかわ自民党・安進会)

**問** 清水前市長は、16年の任期中に市債残高を379億円から284億円に減らす一方、財政調整基金を43億円から約113億円に増やす大幅な財政健全化をしました。前市長の実績をどのように評価するのか伺います。

**答** 数々の功績に敬意を表します。長年の懸案であった新清掃工場の操業の開始と、中学校給食の実現が、最大の功績と考えます。また、プレミアム婚姻届は市のイメージアップに寄与したと評価しています。

**問** 令和6年度予算編成では、前市長からの継続性を考えないのでしょうか。前市長が作成した第4次長期総合計画の締めくくりの大切な1年であることを踏まえた予算編成を行っていただきたいが、見解は。

**答** 市民は市政の刷新を選択したと考えており、公約や新たな政策の実現に向けた予算としていきます。長期総合計画の事業も、今回示された民意から大きく外れている事業は見直しや先送りを想定しています。

その他の主な質疑項目 ●小学校給食の無償化 ●子どもたちの生きる力を育てる教育の推進 ●歯科検診の受診勧奨 ●子ども用GPS発信機購入助成 ●行政のDX化の推進 ●公契約条例 ●入札の地域要件

## 議員連盟活動紹介

特定の目的のために活動する、議員の有志の集まりを議員連盟とよびます。目的は様々で、会派を超えた組織となることもあります。現在は3つの議員連盟が立川市議会議員により組織されており、日々視察や勉強会などを実施しています。

### 立川市スポーツ振興議員連盟



構成人数  
17名

目的  
市民及び行政とともにスポーツの振興を図り、もって市民の福祉向上に資すること

#### 活動内容

立川市のスポーツ振興のため、会派を超えた17名の議員が参加し、様々な研修をしています。過去には立川市を本拠地に行っているプロバスケットボールチームのアルバルク東京や立川ダイスの試合の観戦、フットサルコートでのMIFAの見学、東京オリンピック・パラリンピックの取り組みについての担当課長による講演等を企画・実施しました。

### 立川文化芸術振興議員連盟



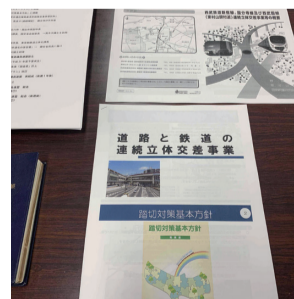
構成人数  
21名

目的  
市民とともに議員自らが文化芸術に親しみ、文化の薫り高い活力あるまち立川の実現を目指す

#### 活動内容

本市は商都としての賑わいだけでなく、景観に優れ、人々の交流の息吹に溢れた奥行きのあるまちを目指していくことが不可欠です。立川文化議連は、日頃から市民の皆様とともに、地域での文化芸術活動に励むとともに、美術やアート、市民オペラ等の鑑賞活動や、先進自治体の視察等を行い、本市の文化芸術施策の推進に取り組んでいます。

### 南武線連続立体化推進議員連盟



構成人数  
17名

目的  
JR南武線の連続立体化の早期実現、踏切遮断による断続的な交通渋滞の解消、快適な市民生活の確保

#### 活動内容

平成30年3月に本議員連盟は設立されました。令和2年には立川市まちづくり部長を講師に迎えて南武線連続立体化における勉強会を実施し、スキームや概況などのレクチャーを受けました。令和4年の改選を経て、令和5年2月に再結成し、再度勉強会を開催。今後は関係団体に働きかけをしていくと共に、先進事例の視察なども行っていく予定です。